

東京都大田区

多様な顧客ニーズに応える自社内一貫生産 加工設備を一元管理するシステムの導入

1923年創業の岡田鋁金株式会社は、1949年より現在の本社（東京都大田区）にて板金業を営む。その後、多様化する顧客ニーズに応えるため工場を茨城県に移転。「スピード対応」「柔軟性」を重視し、社員一丸となって顧客満足度の向上を図る。現在は、工場の規模を拡大し、設計から塗装・組立にも対応し一貫生産体制を構築している。また、工作機械メーカーと連携し、最新技術を取込み、さらなる生産効率の向上に努めている。

●所在地	東京都大田区新蒲田1-22-18
●電話/FAX	03-3734-7101/03-3735-7218
●URL	http://www.oban.co.jp/
●代表者	代表取締役社長 増田 武夫

●設立	1952年
●資本金	1,000万円
●従業員数	150人



顧客の多様なニーズに応える社内一貫生産体制を実現

顧客ニーズに合わせ、生産効率の向上を実現するべく最新設備の導入を行ってきた。さらに、これまでの板金加工に留まらず廃業を検討していた大田区の製造事業者の協力も得て、その設備と技術を同社工場に移転することも行ってきた。これらの活動の結果、工場敷地は60,000㎡に拡大し、設計・精密板金・プレス・塗装・シルク印刷・組立・保管まで一貫生産が可能となった。現在では、さらに無人運転・省力運転を進め、24時間生産体制を実現。これらを付加価値とし顧客より高い信頼を得ている。



高効率生産を実現する同社の最新設備

加工設備を一元管理するトータルネットワークシステム

急ぎの注文にも対応できる柔軟で高効率な生産を実現するために工場別・設備別に生産する体制を構築している。そして、それを支えるために工場内の加工設備の稼働状況を一元管理するトータルネットワークシステムを導入。万が一、加工設備に不具合が生じた場合でも、同社の事務所で即座に対応が可能となっている。また、本システムは工作機械メーカーとも繋がっており、遠隔操作で不具合調整等が可能である。同社製品の品質、納期、コストを高度に管理する本システムは他社に対して優位性を持っている。



加工設備を一元管理するシステム

熟練工による精密板金加工と若手社員への技術継承

同社は充実した最新設備に加え、熟練工の板金加工も得意としている。最新設備と熟練工の高い技術力を融合することで、他社では困難とされる難易度の高い製品に積極的に取り組んでいる。特に溶接など技術レベルの差がそのまま品質を左右する製品においても寸法精度を確保しつつ高品質仕上げを可能としている。また、熟練工と若手社員との技術の継承にも積極的に取り組んでおり、研修会等により人材育成を行っている。こうして、顧客の様々な要望に応えられるよう日々技術レベルの向上を図っている。



熟練工による若手社員への技術継承